

令和4年度 名桜大学公開講座報告書

講座名	東屋部川ナイト・カヌー探検
講師名	なぐまさーの会（カヌーガイド）・新垣裕治（名桜大学国際学群）
日時	令和4年7月16日（土）18:00-21:00
講座の概要 及び所感	<p>コロナ禍であるので、3密を避ける、マスクの着用（陸上では）等のコロナ感染防止対策をしながらの、ナイト・カヌーの実施となった。一昨年から続くコロナ感染拡大で2年ぶりの実施となった。</p> <p>午後6時に集合場所になっている「緑のネットワーク公園」で講座を開催した。カヌーの指導、安全管理をして頂いてくる「なぐまさの会」のガイド（吉田さん）に挨拶をして頂き、その後に、カヌーの説明、パドリング指導、カヌー操作の説明をして頂いた。</p> <p>6時半頃から、「なぐまさの会」の皆さんの協力を得て、カヌーを川へ降ろした。参加者全員がカヌーに乗船してから、東屋部川の上流の「白銀橋」へ向かった。初めてカヌーに乗る参加者も多く、カヌーの動きや操船をガイドから指導して貰いながら、初めてのカヌーの感触を満喫している様子であった。途中、ガイドのマングローブなどの自然解説を聞きながら、また、操船の指導を受けながら「白銀橋」へ漕ぎ進んだ。「白金橋」の近くの川幅が狭まっている川筋には、マングローブ（メヒルギ）やヒメガマ等の植生等があり、参加者からは、以外にも自然が多いことに驚きがあった。</p> <p>「白銀橋」手前で折り返し、屋部川の下流へ向かって移動をした。下流側のマングローブの繁茂する中州付近では暗くなっていたが、周囲のアパートやコンビニ、ガソリンスタンドから漏れてくる明かりで薄暗い程度である。8時過ぎにカヌーを降りる場所になっている「ふるじまばし」の袂で下船をして上陸をした。</p> <p>タブレットで「宇茂佐の森公園」で観察できる動植物の説明を行い、川沿いを上流へ向かい公園を歩きながら、オカヤドカリやオカガニ巣穴やオカガニの観察をした。今回は7月の開催でサガリバナの開花もしていた。また、宇茂佐の森公園では通常のスガリバナに加え赤色のサガリバナも観察できた。また、川沿いを歩きながら集合場所へ帰る途中にタイワンハブの幼个体も観察することができ、夜ならではの地域の自然を観察することができた。</p>
参加人数	17名